

MOVEit® Ad Hoc Transfer

社員・職員によるリスクな個人ファイルの共有に対処するための
人から人へのファイル転送

データシート

MOVEit Ad Hoc Transfer を使うと、エンドユーザーは、使用している Web ブラウザまたは Outlook から、IT が管理できる、規制に準じた方法で安全、迅速に、サイズ制限なくファイルやメッセージを他の人に送付できます。

セルフサービス

外部ユーザーは IT の介入なしに自分で登録し、速やかに利用できます

ブラウザを使ってクイックアクセス

MOVEit Ad Hoc Transfer ウェブページにログオンし、どのファイルを誰に送るかを指定して [送信] をクリックするだけです

Microsoft Outlook サポート

組織独自の業務ツールとシームレスに統合でき、ユーザーは使い慣れたメール・アプリケーションからファイルを送信できます

テキストとグラフィックをカスタマイズ可能

新しい MOVEit Add-in for Outlook は、ユーザーインターフェースでカスタムテキストやカスタムアイコンを使用可能です

毎日毎日、様々な組織の社員や職員が、業務の一環として重要な情報を世界中に送信しており、数知れないほど多くのファイルが共有されています。メールは個人を経由するコラボレーションには最も便利なツールですが、組織がセキュリティのためにできることは限られています。暗号化を奨励したり、添付ファイルに関するポリシーを策定したりする程度で、ファイル共有に関して本質的なセキュリティ保護はできません。ファイル共有プロセスを、速く、簡単に、セキュアに実施できなければ、ファイル共有は、大きなリスクになり得ます。

組織として、個人から個人へのファイル転送に関して一貫したポリシー策定してそれに沿った処理を徹底させる方法は存在します。ファイル添付は禁止して、セキュアな転送を行う方策を確立し、電子情報開示にも対処すること、それは MOVEit Ad Hoc Transfer で可能になります。

MOVEit Ad Hoc Transfer を使うと、使用しているブラウザ、または Microsoft Outlook から、サイズの制限なく、暗号化されたファイルを、安全に速やかに、他の人に送信することができます。組織はガバナンスを効かせることができ、エンドユーザーは誰でも、高速、簡単、安全に、チェックしやすくきちんと管理できる方法で、情報を共有できます。大企業レベルの強力な MFT ソリューションで、広範囲にわたるリスクな個人ファイル共有を安全にコントロールできます。大変使いやすいためユーザーに使うことをいやがられることもありません。

シングルサインオン認証でアクセスをコントロールし、エンドツーエンドの FIPS 認証済みの暗号化をトランスペアレントに行ってセキュリティを確保し、メールへのファイル添付をなくすよう徹底することで、個人から個人へのファイル転送を管理できます。これらのトランザクションはすべて監査証跡を記録でき、レポートも可能なので事後の管理も容易になります。

共有メールボックス機能によって、複数のユーザーやグループが、単一のメールボックスからパッケージをチェックしたりパッケージ送信を管理したりできます。クライアント・サービス部門で、共通のドキュメント・キューからパッケージ送信を行うことも可能です。また、一時的に不在にする間のメールボックスの管理を委任することもできます。共有メールボックス機能を活用することで生産性が向上します。

ファイル送信者にとってのメリット：

ファイルやメッセージを速く安全に他の人に送信可能

安全でないメール、インスタント・メッセージ、サードパーティーのソフトウェア、サムドライブ、認可されていないファイル転送のウェブサイトを使うよりも優れた選択肢があります。ここに列挙したような手法は、組織でコントロールし切れず、安全性も保証されていません。ガバナンス、可視性、情報のセキュリティの改善を模索する組織は、こういった安全でない手法を避けるようになってきました。

MOVEit Ad Hoc Transfer を使うと、権限を与えられたユーザーは、使用している Web ブラウザ、または Microsoft Outlook から、サイズ制限なしにファイルやファイルのフォルダーを安全に他の人に転送したり、セキュアメッセージを送ったりすることができます。ファイルのパッケージをメッセージをつけて多数の送信先に送ることもできます。送信先は MOVEit のユーザーである必要はありません。設定されていない受信者について、IT の要件に基づいて自動的に有効期限、パスワードの長さ、複雑さ、配信の要件などをシステムに追加するオプションもあります。設定を行ったら、受信者にパスワードを作成したり、ファイル有効期間やダウンロードの上限を指定したりすることによってセキュリティ・コントロールをカスタマイズできます。読み取りステータスを表示したり、読み取り通知を受信したりでき、ダウンロードできなくなったファイルについて送信後に「リコール」できる機能もあります。

ファイル受信者にとってのメリット： 速やかな通知とシンプルなファイル受け取り

MOVEit ユーザーがファイルやセキュアメッセージを送ると、受信者はメール通知を受け取ります。メール通知には、ファイルをセキュアにダウンロードするためのリンク、あれば送信者からの伝言とパスワード要請が含まれます。通知はどのメール・クライアントや Web メール・アプリケーションからでもチェックでき、受信者は埋め込まれたリンクをクリックするだけでファイルにアクセスできます。送信者に安全にファイルを送り返すこともできます。

受信者は、追加のプラグインやソフトウェアなしに、Internet Explorer、Firefox、Safari for OSX、Chrome など、どの Web ブラウザからでもファイルを取り出せます。ファイルのパッケージを受信するのに MOVEit のユーザーである必要はありません。

IT 部門にとってのメリット： エンドツーエンド暗号化、添付ファイルの禁止、 セキュアなメッセージ

MOVEit Ad Hoc Transfer を使うと、ユーザーはファイルやセキュアメッセージを他の人に簡単かつ安全に送信できるため、社員・職員が安全でないメールや他の方法を使うリスクを減らせます。ファイルのサイズに制限がなくサムドライブやDVDなどより便利です。リスクなツールからの移行が促進できます。

IT 部門は、このソリューションによって、組織全体へのデータ保護に必要な可視性とコントロールが得られます。さらに、ユーザーがファイル転送サーバーを使えるよう準備したりといった IT 部門の負荷が減らせ、ファイル転送に関する総合的なガバナンスを強化できます。可視性が高まり、ログやレポート作成が効率化できるので、コンプライアンスや監査プロセスも改善できます。管理者は、不正開封防止ロギングと完全なパッケージのアーカイブで、送信者、受信者、未読・既読状態、メッセージ、添付ファイルなど、すべてのファイル転送データをチェックできます。

MOVEit Ad Hoc Transfer のセットアップと維持は極めて簡単です。送信者の割り当て、ファイルサイズの制限（希望すれば）、ファイル送信通知、パスワード条件、埋め込みリンクの命名規則、ファイルの期限切れ規則といったファイル転送に関する設定を簡単に行うことができます。シングルサインオンとユーザー認証の集中管理は、Microsoft ADFS、Shibboleth、Onelogin などの ID プロバイダシステムとの SAML 2.0 統合を通して実現できます。

Outlook の管理者が、Microsoft 365 または Exchange 管理センターを介して MOVEit Add-in for Outlook を展開することで、アドホック機能を組織全体に拡張できます。エンドユーザーがクライアントソフトウェアをインストールしたり保守したりする必要はありません。MOVEit Ad Hoc Transfer モジュールは、添付ファイルによる組織のメール・サーバーへの負荷も減らします。メール・サーバーにソフトウェアをインストールする必要もありません。そのため、大容量の添付ファイルや大容量ファイルで受信者の受信ボックスが満杯になったせいで送り返されるような状況を避けることができ、サーバーのパフォーマンスが向上します。

毎日のアドホックなファイル共有をサポートする管理業務がなくなり、IT 部門はより生産的な業務を行うことができます。

業務上のメリット

- **生産性の向上**
大容量ファイルや機密ファイルを送信する場合、いちいちどういふ方法がいいかを検討する必要がない
- **コラボレーションしやすさ**
組織内外の誰にでも簡単にファイルやメッセージをセキュアに送信できる
- **トレーニング不要**
普段使っているブラウザや Outlook からファイルやメッセージのセキュアな送信が可能

管理上のメリット

- **メールの負荷軽減**
メール・サーバーへの添付ファイルによる負荷がなくなる
- **集中管理**
ユーザー認証を ID プロバイダシステムとの SAML 2.0 統合、AD/LDAP 統合を通して、または MOVEit からネイティブに管理
- **コントロールの向上**
管理者が制定した、ファイル添付、セキュアメッセージ、暗号化、データ保持などに関するポリシーやルールが守られる
- **セキュリティ・ポリシーの強化**
監査証跡を残し、電子情報開示にも対処できるよう、すべてのユーザーを識別し、ファイル転送アクティビティをログにとる
- **可視性の向上**
すべてのファイル共有アクティビティについて監査に対応
- **ユーザー管理不要**
エンドユーザーが利用するための準備や管理業務が不要



無料試用版をお試しください:

www.ipswitch.com/jp/forms/free-trials/moveit-transfer

プログレス・ソフトウェア・ジャパン株式会社
〒106-0047
東京都港区南麻布4-11-22 南麻布T&Fビル
www.ipswitch.com/jp
sales_japan-ipswitch@progress.com